

賛助会員募集!!

当法人は、障がいをもった方々がその人らしい生活ができる地域社会の実現に寄与できるよう適切なサービス提供を行うことや、必要なサービスを提供ができる人材の育成を目的としています。これからも利用者の方々に安心・安全・安楽なサービスが提供できるよう努めてまいります。当法人の事業にご理解とご賛同を賜りたく、賛助会員募集のご案内とともに会費の納入をお願い申し上げます。皆様からいただいた会費を活用し、利用者の方々に楽しんでいただくための企画や職員およびヘルパーのための内部研修を企画していきたいと思ひます。以下、会計報告をさせて頂くとともに、今後もかすみ草をよろしくお願ひいたします。

※振込用紙を入れさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

①入金			
前年度繰越金	396,330		
正会員	33,000		
賛助会費	340,000	769,330	
②出金			
クリスマス会（プレゼント代含む）	162,718		
プレゼント送料	17,300		
20周年行事費用	481,027		
招待状送料	4,116		
内部研修代他	2,440	667,601	
差引（①-②） 次年度繰越金			101,729



年会費一口：個人 2,000円～
団体・法人 5,000円～

●ゆうちょ銀行 00130-7-369774
特定非営利活動法人 かすみ草

展示会を開きました 2023年11月20日～24日

恒例の“放課後等デイサービスくじら”の作品展示会が開かれました。たくさんの方々に作品を見ていただきました。今年も、作品展示会を開催いたしますのでぜひ覗きにきてください。



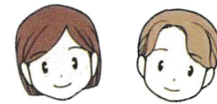
11月6日～10日
9:00～21:00

永福和泉地域区民センター

放課後等デイサービス くじら

新メンバー紹介

ケアサポートかすみ草に
女性メンバーが増えました
星野谷 久子さん
西鶴園 陽子さん
よろしくお願ひいたします



NPO法人かすみ草のホームページが
リニューアルしました！

<https://www.kasumiso.org/>

NPO法人かすみ草のホームページが、リニューアルいたしました。今後も、発信していきたいと思ひます。

東京都障害福祉サービス等職員居住支援特別手当事業 居住支援特別手当の 補助申請をいたしました

東京都内の障害福祉サービス等事業所が、福祉、介護職員を対象に「居住支援特別手当」を支給する場合に支給に要する経費に対して補助を行います。常勤および週20時間以上または月80時間以上勤務の非常勤職員が対象になります。対象外の職種もありますので、詳細は担当職員までお願ひいたします。

〇 編集後記

2004年3月23日に東京都より認証を取得、そして翌月の4月1日に登記が完了し、「NPO法人かすみ草」の誕生です。その後、様々な紆余曲折を経て20年、これまで関わってくださった皆様をお招きして「感謝の集い」が催され、盛会のうちに幕となりました。今後も「NPO法人かすみ草」をよろしくおねがいたします。（H・Y）

かすみ草

NO. 32
2024

NPO法人 かすみ草

発行責任者：早野 節子

〒168-0063
東京都杉並区和泉3-22-15
グランヴェール和泉101
TEL 03-6265-7991
FAX 03-6265-7992

kasumiso@themis.ocn.ne.jp
<https://www.kasumiso.org/>

理事長挨拶

早野 節子

旧優生保護法が憲法に違反しているという判決がやっと下りました。このニュースを目にする度に、思ひ出すことがあります。

私は今から約45年前に、重症心身障がい者入所施設「むらさき愛育園」に入職しました。それまで福祉とは縁のない暮らしで勉強したこともなく、知識はもちろん、障がいを持つ方たちへの理解も心構えもない状態の私でしたが、雇ってもらうことができました。当時、多くの新人職員が入り、習うより慣れよという感じで、職場の先輩たちに教わりながらのスタートでした。

入職して4～5日め、脳性麻痺の女性の排泄介助を先輩職員の指導を受けながらやっていた時に、ご家族（お母さま）の面会があり、その時たまたま生理中だった娘さんの前で、そのお母さまが「こういう身体なんだから、子供を産むわけでもないし、生理なんてあっても困る。子宮を取ってもらえたら良いのにな。」とおっしゃったのです。それを聞いた利用者の娘さんも「そうそう、生理なんか無い方が良いもん。」と言ひました。その利用者さんは私と同じ年で20代です。「えっ」と思ひましたが、そういう見方もあるのだろうか・・・とも思ひたりしたその時に、そばにいた先輩職員が「お母さん、なんてこと言うの！生理がきちんとあつて良かったじゃないの。そんなこと、二度と言わないで。〇〇さんも言っちゃだめよ。」とお母様とご本人に言ったのでした。私は先輩の言葉に感動し、言つても考えてもいけないうことだと確信しました。しかしその後、お母様が言ったのは本心ではなかつたのではないかと気づきました。施設の介護職員に対する遠慮や心配りが言わせた言葉かもしれない。そして、そうさせたのは社会や職員の態度や言葉だったのかもしれない、と思ひたのです。

お子さんに障がいがあることで、いつも周りに気を使い、遠慮し、「ありがとう・すみません」を言ひ続けてきたのです。そしていつの間にか、お子さんもそう思ひようになってしまったのでしょうか。それが当たり前前の世間だったから・・・。

もう「ありがとう・すみません」は言わないで。

こちらから「生まれてくれてありがとう・気を使わせてすみません」と、言わせてください。



〇 総会報告

2024年5月26日（日）、令和六年度定期総会が開催されました。

議長に瀧本氏が選任され、令和五年度、事業報告・決算報告・監査報告と順次審議が進められ、すべて承認されました。

続いて令和六年度の事業計画および予算について審議され、原案通り承認されました。近藤有司税理士事務所 近藤氏により決算報告・予算について説明がなされました。

総会にて原氏・堀向氏・山根氏の3名が新理事として承認されました。新しい理事を含め9名で、かすみ草の運営に関わつてまいりますので、よろしくお願ひいたします。

特定非営利活動法人 かすみ草 20周年 感謝の集い

2024年5月26日(日) 荻窪タウンセブン会議室にて



特定非営利活動法人かすみ草は、2024年3月23日設立20年を迎えることができました。



20周年式典にはヘルパー・杉並区職員かすみ草に関わって下さった皆様など49名の方が出席してくださり、盛大に行われました。

早野理事長の挨拶に始まり、すぎのき生活園園長直井氏・みかん組副代表 荻野氏より祝辞をいただきました。

つづいて、フラット代表 木津石生氏に乾杯の音頭をとっていただき、20周年の式典が始まりました。



すぎのき生活園園長 直井 誠氏
みかん組副代表 荻野 志保氏
フラット代表 木津 石生氏

おいしい食事、和やかな団らんの後、パネラー7名を迎え、“地域でいきいき暮らす”をテーマにパネルディスカッションを行いました。参加者の方からもお話を頂き、有意義なディスカッションとなりました。

最後に居宅訪問型児童発達支援“いるか”の岡田先生、峯尾先生、音楽療法士水野先生によるミニコンサートが行われました。

岡田先生の歌唱力に聞きほれ、手ぶりを交えた歌を皆で楽しみました。あつという間の2時間半でしたが、たくさんの方にお祝いをしていただきました。

今後かすみ草をよろしく願いいたします。



パネルディスカッション ～地域でいきいき暮らす～

(内容は、一部抜粋させていただきました)

(早野)

かすみ草には設立当初からの3本柱がありまして、①重度の障害者が在宅で暮らせるためのヘルパーを育てる ②重度の障害をもっていても安心して暮らせるグループホーム(以降 GH)を作りたい ③住み慣れた地域で安心して暮らしていく環境づくりを考えていきたいということです。この3点に関してご意見をいただきたいと思っております。

今まで赤の他人を誰も入れたことのない家庭に、突然ヘルパーがいることに拒否があるのも当然だと思います。ただそうでありながらも重度の障害をもって一生ヘルパーを使って生活していく可能性もあるわけでそこを上手につかうことが大事だと思います。事業所としてもヘルパー一人に任せるのではなく事業所として責任をもって指導したりご家族に寄り添ったりすることも大事だと思っています。

(Mさん)

重度心身障害児の女の子の母です。学校の長期休暇の時に、居宅介護で自宅にヘルパーがはいっています。一時間という短い時間でも温かく目を見て一対一で接して下さるヘルパーさんと安心して過ごしています。

(早野)

利用者さんも体が大きくなってくると入浴介助をヘルパーが担っていくことが大変難しくなってきます。入浴のところでこんな取り組みをしているなどありますか。

(こすもす生活園園長 元井氏)

こすもす生活園は一人当たりの入浴回数が月2回と少ないのですが、集団でのプログラムとして考えながら入浴の方法などの見直しを考えているところです。新しい試みとして訪問入浴の事業所の参入を始めています。入浴希望の多い中、どうやってニーズに答えていくかということもいつも考えているところです。

(早野)

こすもす生活園の訪問入浴を入れたということは画期的なことだと思います。区の職員だけでまかなうことのできないところを民間の力を入れて在宅の応援をするということとはとてもいいことだと思いますね。

(Oさん)

重度心身障害児の女の子の母です。まだ小学生で体が小さいので、とりあえず入浴は家族で大丈夫です。直近で困ったところでは両親ともに働いているので朝・夕がたをどうしたらいいか、というところ。相談支援をお願いしているかすみ草に相談してヘルパーをいれていただいたことで、仕事も続けていられています。今後も支援をお願いします。

(早野)

身体障害者のグループホームは、杉並区はどれぐらいありますか。

(杉並区役所障害者施策課 白石氏)

身体障害者を受け入れているGHは、「カラフルホーム」が身体障害者を受け入れているGHになります。「ゲンキ本天沼」にも身体障害の方がおられます。経管栄養の方限定にはなりますが「うららか」(医ケア可)があります。どうしても身体障害者を受け入れているGHが少ないのは、課題かな？と思っています。

(早野)

カラフルホームの取り組みについて教えてください

(カラフルホーム 網野氏)

睡眠時無呼吸症候群でCPAP(持続陽圧呼吸療法)装着しなければならぬ利用者さんがいて、はじめのうちは嫌がりなかなかつけてくれなかったのですが、支援員の根気・努力で今では二時間近くつけていられるようになりました。夜間も見えています。

(Hさん)

息子は知的の重度です。親のほうに気をつけて何をどのようにGHに伝えていくかが大事だと思っていて、なんでも伝えるのではなく優先順位の高い方から伝えるようにしています。親以外の人に預けるということなので、親だから全部できて当たり前のことを、改めて客観的にみてみないとわからないところもあります。そこを見極めて伝えていく。助けてもらわないと生活はできないので、自分も支援者のつもりでやり取りができるGHが理想です。時間をかけて子供を知ってもらうことが大事。それまでにいろいろな体験をして、親も上手に支援者として接していければと思っています。

(早野)

住み慣れた地域で生活していくために障害がある無いら関わらずどうしたらいい環境を作れるかなど、今杉並区で取り組んでいる新しい取り組みを教えてください。

(障害者生活支援課 山本氏)

障害をもっているもっていないにも関わらず、困っていることをよかったことにしていこう！支援者や障害者本人も一緒に話して地域を変えていこうという活動“共生社会しかけ隊”を結成しました。障害者本人が入ることによって一緒に考えて地域を変えていこうという試みが少しずつ広がっています。

(木津氏)

しかけ隊には昨年度から参加しています。地域区民センターのお祭りのなかに障害者がどう参加したらいいのかというテーマで参加させていただきました。これからの障害者のかかわりについてしかけ隊の試みが大事になっていくと思っています。

(早野)

しかけ隊はこれから期待を持てる活動だと思います。皆さまご協力ください。地域にある区立3施設(すぎのき・なのはな・こすもす生活園)も地域に住む人達との交流などをもって風通しのいい杉並区の身近な施設であってほしいと思います。今日はありがとうございました。



パネラーの皆様(右より)
杉並区役所障害者施策課 白石氏・杉並区役所障害者生活支援課 山本氏
カラフルホーム 網野氏・すぎのき生活園園長 直井氏・こすもす生活園園長 元井氏
なのはな生活園園長 岸氏・フラット代表 木津氏・かすみ草 早野理事長